

●平成 27 年度第 1 回 いばらきエコプラットホームのまとめ

1. 開催概要

- 開催日時：平成 28 年 1 月 20 日(水) 15:30~17:05
- 開催場所：茨木市役所 南館6階 第1会議室
- 参加者数：10 名（内、事務局関係者 3 名）
- 参加団体数：4 団体（環境を考える市民ネットワークいばらき（大阪友の会北摂方面、茨木市消費者協会）、茨木工科高等学校、茨木商工会議所、大阪ガス株、大阪大学、彩都低炭素タウン推進協議会）
- 内容
 - ①エコグランプリいばらき 2015 について（報告）
 - ②エコグランプリいばらき総評及びミニ講座
 “環境の取り組みを定着・普及させるために考えたいこと”
 講師 大阪大学大学院工学研究科環境・エネルギー工学専攻 准教授 山口容平先生
 - ③情報交換、取組紹介

2. エコグランプリいばらき総評及びミニ講座について

エコグランプリいばらきについて

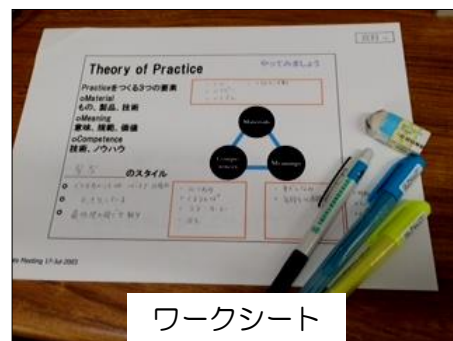
- ・継続、工夫、広がりがキーワードであり、作り変えながら紹介していくことが大切。今回最優秀賞を受賞された方の取組み『レジャーも地産地消』は、テレビのように与えられるものではなく、自分たちで情報を得て日程を調整して計画している。この経験は子どもたちにとって大切なことであり、大人になってからも生きてくるものである。



受賞者パネル展示の様子

ミニ講座『環境の取り組みを定着・普及させるために考えたいこと』について

- ・取組みが続かない、習慣にならない理由を考えると、習慣の3要素『Material』『Meaning』『Competence』のうちどれかが足りないことが多い。
- ・ワークシートを使って“〇〇の習慣”を書き出してみる（事例：ダイエットの習慣。習慣にならないのはどの要素が原因か）
- ・普及させたいことを周りの人にもやってほしいことに置き換え、うまくいった理由やいかなかった理由から普及させる方法を考えてみる。（事例：洗濯物を干す際にしわを伸ばしてもらうには？）
- ・省エネなどの環境施策についても、上記の3要素に当てはめることで、解決の糸口や適切な周知方法などを見出すことができる。（事例：エコグランプリの受賞内容で考えてみる）



ワークシート

3. 情報交換、取組紹介

活動報告

- ・大阪ガス株より、電力自由化及びガスの自由化、マンション向けエネファームの販売について
- ・環境を考える市民ネットワークいばらきよりええことカレンダー（環境家計簿）の1ヶ月チャレンジについて、50 名程度の報告があり、年度内をめどに結果を取りまとめる予定
- ・その他 鍋ぼうしの活用、生ごみの捨て方など